

R3年度 取り組み計画（案）

比較的取り組みやすく、担当者会議を中心に、実施に向けた調整が可能と考えられる取り組みを、R3年度から実施していきたいと考えています。

生物の生息環境保全に関する行動計画

(1) 生きもの調査等の連携体験会の実施

【検討の流れ】

- ①連携できる取り組みの抽出（既存or新規）
- ②調整打合せの実施（関係主体及び協力可能な主体）
- ③開催・運営（連携実施）

(2) 外来種対策等の連携対策の実施

【検討の流れ】

- ①清掃活動等で外来種対策が可能な取り組みの抽出（既存or新規）
- ②対策手法の検討（対象種選定、資料作成、企画案検討等）
- ③企画会議の実施（関係主体及び協力可能な主体）

地域振興・経済活性化に関する行動計画

(1) エコネット魅力マップ／サイクリングマップ

【検討の流れ】

- ①マップに掲載する情報の収集・整理
- ②マップの性格に応じた情報の整理
- ③マップの作り方の検討（紙面・WEB等）
- ④マップデザインの検討
- ⑤マップの配布・配信方法の検討
- ⑥企画会議の実施（関係主体及び協力可能な主体）

連携を支える仕組みづくり

(1) エコロジカルネットワーク形成のための情報分野の連携

市町報やHP等での互いの取り組みの案内・紹介

活動の年間カレンダーの作成

共通ロゴマーク等の作成

エコネット事務局 情報発信基地（SNS等）の立ち上げ等

R3年度 取り組みスケジュール（案）

カテゴリー	時期	R3年度			
	細目	4～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
生物の生息環境保全に関する行動計画	生きもの調査等の連携体験会の実施	①連携できる取り組みの抽出 ②調整打合せ（適宜） ③開催・運営（連携実施）			
	外来種対策等の連携対策の実施	①清掃活動等で外来種対策が可能な取り組みの抽出 ②対策手法の検討（対象種・場所、配付資料等）		③調整打合せ（適宜）	
地域振興・経済活性化に関する行動計画	エコネット魅力マップ／サイクリングマップ	①マップに掲載する情報の収集・整理 ②マップの性格に応じた情報の整理 ③マップの作り方の検討（紙面・WEB等）		④マップデザインの検討 ⑤マップの配布・配信方法の検討	⑥調整打合せ（適宜）
連携を支える仕組みづくり	情報共有・情報発信等	市町報やHP等での互いの取り組みの案内・紹介 活動の年間カレンダーの作成 共通ロゴマーク等の作成		エコネット事務局 情報発信基地（SNS等）	
合意形成の場	推進協議会、WG	WG（当年度の活動相談等）		WG（次年度の活動相談等）	推進協議会（進捗管理等）

アクションプランの具体化イメージ（案）【第1～2回WGでのご意見を踏まえて】

第1～2回WGでのご意見・ご発言を踏まえて、おそらく該当するだろうプランとの関連付けを行い、表として整理したものです。

これから、アクションプランを具体化して取り組みを進めていくにあたって、これらの修正・追加、また、すぐに着手したい取り組みや、数年先に実施したいものなどの時間軸、だれが主体的に進めていくかなどの役割分担についても、意見交換を進められればと考えています。

アクションプランの取り組み項目		取り組み項目（細目）
生物の生息環境保全に関する行動計画	プラン① 合同生き物調査の実施	1)各関係機関が実施している生きもの調査の連携
		2)荒川流域の水田・支川・水路やその連続性(魚道)に関する環境調査
	プラン② ゴミ・外来種問題への対応	1)各関係機関が実施しているクリーンアップ活動の連携
		2)クリーンアップ活動等と連携した外来種の駆除促進
	プラン③ 環境学習・観察会の推進支援	1)出前講座、環境学習、体験活動等の機会の提供
	地域振興・経済活性化に関する行動計画	プラン④ 各種広報の展開
2)コウノトリ生息ポテンシャルマップの作成		
3)自然環境の保全等の取り組みに対する支援情報等の提供		
プラン⑤ エコツアーの推進支援		1)荒川の自然環境を楽しむエコツアー・体験活動の推進
		2)荒川流域の自然環境を生かした体験活動の連携
		3)サイクルツーリズムの連携企画やその実行
プラン⑥ 関係者間のネットワーク支援	1)個人や学校、企業等への活動の浸透、双方向の情報交換の仕組みの形成	

個別取り組みイメージ（案）

プラン⑤-3)	エコツアーの推進支援(サイクリングマップ・エコネット魅力マップづくり)
目指すもの (10年後)	➤ エリア内において、自然環境を活用した地域観光が実施されていること（新たな集客要素の提供による地域活性化への貢献）。
取り組み (最奥)	① サイクリングマップの作成 ② エコネット地域の魅力資源マップの作成
実施内容	①荒川上流域の魅力をつなぐサイクリングマップの作成 ※サイクリングは起点となる駅、駐輪スペース、飲食・トイレ等の情報が重要。 ②荒川上流域の魅力（観光・見所、物産、体験等）をまとめたマップの作成 ※鬼怒川・小貝川で実施されているサイクリングコースの設定等を参考にする。
実施場所	➤ 荒川上流域（特に5市町範囲）
実施頻度	初版（紙面版、WEB版） ・紙面版は最初のみ ・WEB版はgoogle MAP等をベースに、適宜更新できる仕組み 鬼怒川・小貝川の魅力情報(情報誌るるぶ)
実施時期	～令和4年度目途に第1版の公開(紙版)
参加者	誰でも閲覧可能 ・サイクリング協会、サイクリング連合、地域のサイクリングショップ等にも声かけ、リンクを貼ってもらうなどの工夫が重要。 ・魅力マップは、道の駅、物産館等の地域拠点で閲覧できるようにするなどの工夫が重要。
費用	・マップ製作費 ・WEB運営費 ・紙面印刷費
役割分担	・自治体、埼玉県： ① サイクリングでの立ち寄り拠点の情報提供 ② 魅力情報の情報提供 ・市民団体、河川管理者： ① ② 荒川沿いの見所情報の提供
留意点 調整事項等	・サイクリングマップは、地域のサイクリング愛好者等に協力いただけると、関係機関とのネットワークが広がる。ワークショップなどを通じて作成することも視野に入れる。 ・ポタリングなど気軽に取り組めるサイクリングとの組み合わせも重要。 ・WEBは、関係機関とのリンクや、SNS等との連携も重要。 ・スタンブラリーはマップを作成後、検討



プラン⑥	関係者間のネットワーク支援
目指すもの (10年後)	➤ エリア内において、自然環境・地域振興に取り組む地域関係者間の新たな連携・交流が図られ、各自の取り組み発展に寄与していること。
取り組み (最奥)	個人や学校レベルの取り組みを紹介し合い、称え合う仕組みの導入 (例)※Twitter#荒川チャレンジ(例)
実施内容	個々人や学校、企業等で実施している、「環境に良いと思う」「ちょっとした取り組み」を投稿してもらい、みんなで実施していく雰囲気を作っていく。 また、投稿された“ちょっとした取り組み”について、広がり方、支援(いいね)、手軽さなどから、優れたものを表彰・紹介する取り組み。
実施場所	➤ 事務局が運営するTwitterやFacebookサイト内 発表会・表彰式は、各自自治体で持ち回りで実施
実施頻度	➤ 表彰式などは年1回程度
実施時期	➤ 通年
参加者	一般公募及び自由に投稿可 (主に、個人、学校、市民団体、企業等を対象に募集)
費用	・TwitterやFacebookの運営費 ・表彰等のインセンティブ費 ・発表会・表彰式の運営費
役割分担	・市民団体、自治体、埼玉県、河川管理者：活動募集の告知・周知 ・自治体：持ち回りで会場準備
留意点 調整事項等	



学校の活動状況の投稿事例(Twitter)



環境学習の発表会の事例